

断熱特性

当社MG（ロックウール）製品は、内部に微細な空隙を無数に内包しており、それにより断熱性に優れた製品となっております。

密度と熱伝導

A. 低温域（100℃以下）

密度が80～100kg/m³で最低値を示しますが、全密度範囲で大きな差はありません。

B. 高温域（100℃以上）

100℃以上では、温度の上昇とともに熱伝導率は二次関数的に上昇します。なお、この傾向は密度が高くなるほど穏やかになります。

ロックウールの平均温度（θ）と熱伝導率（λ）の関係

ロックウールの熱伝導率（λ）は、平均温度（θ）が高くなると上昇し、ロックウールの密度（ρ）が低い程その上昇が著しい。これらの関係を図-1、図-2に示す。

ロックウールの平均温度と密度の関係

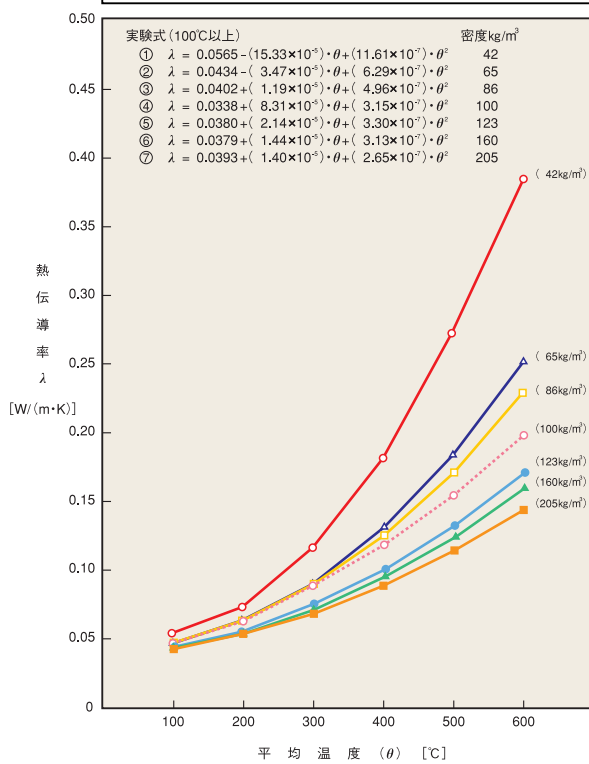


図-1 ロックウールの平均温度（θ）と熱伝導率（λ）の関係

ロックウール密度と熱伝導率の関係

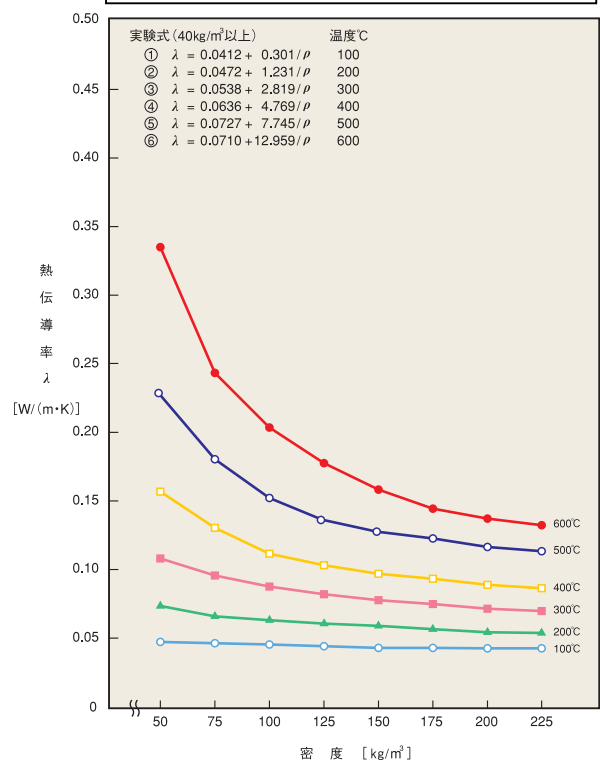


図-2 同一平均温度（θ）におけるロックウール密度（ρ）と熱伝導率（λ）の関係